



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第 91 号

2018 年（平成 30 年）1 月 20 日
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0101 鎌ヶ谷市富岡 1-1-3
 きらり鎌ヶ谷市民会館 3 階
 TEL：047-442-1860
 月・水・土 9：00～16：00
 e-mail：main@kifa.gr.jp

設立 30 周年記念号



異文化国際交流を支えて 30 年

草の根異文化交流を支えて 30 年——2017 年は鎌ヶ谷市国際交流協会・KIFA 発足から 30 周年でした。

1988 年（昭和 63 年）4 月 18 日、市民レベルでの地域国際化推進に向け、草の根交流の活動を開始しました。広報誌「KIFA Plaza」の創刊号には、発足から 180 日間の組織確立への活動記録と民間国際交流に参加できる市民の喜びの音が載っています。

以来、在住外国人と市民交流のきっかけづくり、異文化を知るイベント・企画運営を、すべて市民ボランティアによる協力で実施してきました。



30 周年を記念する KIFA パーティが 2017 年 11 月 26 日（日）総合福祉保健センターにおいて開催されました。

来賓を代表して清水聖士市長＝写真＝から「国と国、政府と政府の国交以外の民間人の交流をしていくことが、外交関係に厚みを増していくことになっていると思います。脈々と民間の交流を続けてこられた KIFA の活動に改めて敬意と感謝を申し上げ、さらに国際交流を活発にしていきたい」と、関わってきたボランティアにはうれしい祝辞をいただきました。

永年会員、法人・団体会員に感謝状



団体、法人会員に感謝状が贈られました。

永年会員を代表して私市醸造（株）私市富士弥会長に秋山秀一会長から感謝状が授与されました。＝写真＝
 （感謝状授与の皆さんは 5 面に掲載しました）

ワカタネに青年親善大使を派遣

創立 30 周年の記念事業として、KIFA では将来、国際交流事業を担う、「青年ワカタネ親善大使」を 2 名募集しました。応募された中から田中遼平さん（33 歳）＝写真上＝と和田初音さん（20 歳）＝写真下＝が青年親善大使に選ばれ、2 月 23 日から 10 日間姉妹都市・ニュージーランド ワカタネにホームステイすることになりました。

（6、7 面にワカタネ市関連記事）



K I F A 設立 30 周年を迎え、今、思うこと…

鎌ヶ谷市国際交流協会 会長 秋山 秀一



ずっと、旅をしてきました。今まで、国内の各地を歩き、海外のいろいろな国々を歩いてきました。今も、旅の途中で、旅を続けています。理由は、旅が好きだからです。ほかに理由はありません。今、この瞬間、

国内外のいろいろな所に、いろいろな人達がいろいろな暮らしをしています。普通の人々がどんな暮らしをしているのか、そのことに興味があって、ほんの少し覗かせていただくために、旅をつづけている。そんな気がします。

1975年にカナダのバンクーバーに出かけ、ほんのちょっとアパート暮らしをしたのが、海外の旅の始まりで、あと数回で海外への旅も200回を超えます。この間、TVやラジオで旅の話をしたり、様々な雑誌に写真や原稿を載せていただき、著書も30冊ほどになります。

「今まで行ったところで、どこが一番よかったですか?」「〇〇に行ったら、おススメの場所や店はありませんか?」といったようなことを、今まで、何度質問され

たか、わかりません。残念ながら、そんなとき、相手が満足するような、まともな答えを言えたことがありません。

印象に残った所、記憶に残っている所なら、いくらでもあります。たとえば、ロンドンには、1979年に初めて行ってからほぼ毎年、年に1度は旅をしています。街を歩いて、好きな絵(真っ先にターナー)の前にしばらく立ち、なじみの店で食べて、飲んで、ミュージカルを観ます。韓国にも、中国にも、チェコにも、スペインにも、フランスにも…、世界の各地に、今すぐにでも飛んでいきたいところがあります。

でも、どこに行っても必ず鎌ヶ谷に帰ってきます。多くの故郷は、鎌ヶ谷です。今、こうして、鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)が創立30周年を迎えた、ということに、感慨深いものがあります。これは、すごいことです。素晴らしいことです。「国際化」ということがずっと言われ続けています。鎌ヶ谷にKIFAあり。市民の皆さんのちょっとした力が加わると、もっと大きなものになります。一緒に、育てていきませんか。

K I F A 設立当時を振り返って

初代派遣部会長・元会長 荒井 茂行



青少年関係のボランティアをしていた当時市職員にKIFAを紹介され、設立当初から派遣部会長をお引き受けしました。1993年度までは行政の支援でKIFAが青少年の海外派遣を行っていました。派遣部会長

として選考にあたっては、公費を使う上からも自分の中で「目的意識を持ち、帰国後は経験を鎌ヶ谷市へフィードバックができる人」という一定の方向性があり、応募者には随分堅くて難しい質問をしたと反省しています。

その後はKIFA独自の派遣となり、私もワカタネには

数度行きましたが、民間人としての交流は心と心で交流しあえることが原点である事だと知りました。

ワカタネ市にはいつも私がホームステイしている日本の梨を栽培している農家があります。私も梨の栽培をしていることから梨談義が始まると、深夜まで止まらず夢中になってしまいました。その農家の梨箱の表記は「KOUSUI」「HOUSUI」「20SEIKI」など日本名になっています。自然を愛し、人々の健康を気遣い、ゆったりした環境のワカタネは私の性に合っており将来、機会があれば全く違和感無く暮らせる外国です。震災以降滞っている派遣事業が30周年を機に再開されると良いですね。

過去 10 年間の KIFA 三役

2008～2009 年	会長：酒井哲郎	副会長：桶本 栄、平田真裕美	会計：高橋修司、長南 勇
2010～2011 年	会長：茂野 昭	副会長：岡本靖子、高橋修司	会計：酒井哲郎、長南 勇
2012～2013 年	会長：長南 勇	副会長：岡本靖子、高橋修司	会計：酒井哲郎、川端正征
2014～2015 年	会長：信夫 稔	副会長：藤井明恵	会計：藤本克代
2016～2017 年	会長：秋山秀一	副会長：後関俊一	会計：藤本克代

鎌ヶ谷市の国際化牽引を感謝

鎌ヶ谷市長 清水 聖士



鎌ヶ谷市国際交流協会設立 30 周年おめでとうございます。昭和 63 年から 30 年という長い歳月にわたり、これまで関わってこられた歴代の会長をはじめ、役員及び会員の皆様におかれましては、鎌ヶ谷市の国際化を牽引していただき、誠に感謝申し上げます。

現在、鎌ヶ谷市における外国人の住民登録人数は年々増加し、今年度は 1400 人を超えており、2 年後の 2020 年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため、都心と成田空港の中間にある鎌ヶ谷市にも多くの外国人が訪れ、市内のあらゆるところで、国際交流が盛んになることが予想されます。その中でも、市民同志の国際交流は大変重要です。

私のケースを申し上げますと、私自身がひとりの外国人として外国に住んでいたことがあります。アメリカのニューオリンズ郊外に住んでいた時、娘が生まれ

ましたが、通りの向かいに住んでいた老夫婦がベビー服をプレゼントしてくれました。普段、道で会ったらあいさつする程度の付き合いだったので、大変驚き、とてもうれしかったことを覚えています。インドでは、現地の人とサッカーをし、仲良くなったこともあります。そういう、日常のなにげない交流が、実はとても重要なのだと思っています。

鎌ヶ谷においても、日常生活の交流が、国際交流協会のご尽力によりさらに広がっていくことを期待しています。交流のきっかけづくりや国際化の意識づくりには、国際交流協会の皆様のご協力が必要不可欠です。日々の活動の中で皆様を感じられたご意見を共有し、協力しながら多文化共生の街づくりに取り組んでまいりたいと思います。

結びに、国際交流協会のますますの発展を心よりお祈り申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

鎌ヶ谷市国際交流協会設立 30 周年記念誌に寄せて

鎌ヶ谷市議会議長 勝又 勝



鎌ヶ谷市国際交流協会は本市の個性を生かした国際交流事業を推進し、市民の福祉と文化の向上に資するとともに、国際親善を通して世界平和と繁栄に寄与することを目的として、人と人、心と心の国際交流の推進を目指して 1988 年に設立され、めでたく 30 周年を迎えました。

この間、歴代役員をはじめ、会員やボランティアなど関係者の皆様方には、多大なご理解・ご尽力を賜りましたこと、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、社会経済の急速なグローバル化に伴い、海外からの来訪者が増加する一方、外国人住民も年々増加し、協会設立時に 214 名であった外国人登録者数は 2016 年には 1364 名と 6 倍以上も増加しております。

こうした状況の中で、私たち市民一人一人は、言語はもとより、住宅や労働、医療、福祉、教育などあら

ゆる面において、積極的に外国の方々とコミュニケーションを図り、地域住民であるという認識を深める必要があるものと考えられます。

特に、異文化交流は、お互いの文化にふれることで、より一層、自国の文化や歴史を認識するとともに、国際理解が深まり、国際化の進展や世界の平和に寄与することができるものと、確信しているところでございます。

2020 年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。成田国際空港と都心の中間に位置する鎌ヶ谷市は広域交流拠点として、海外からの来訪者に本市の魅力をアピールする絶好のチャンスであり、ボランティアの活躍が大いに期待されます。

結びに、この度の設立 30 周年を契機として鎌ヶ谷市国際交流協会の今後ますますの発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。

K I F A ・ 秋山秀一会長が開会あいさつ



設立以来、外国文化の紹介、異文化体験など、在住外国人との交流の場として親しまれてきました年一度の最大イベント・KIFAパーティ。

冒頭、秋山秀一会長が開会あいさつを英語のスピーチで行い（日本語要旨は2面に掲載）、さらに、30年前の設立時には副会長として、今は会長として関わっていることは縁ではないかと思っていますと話され、「鎌ヶ谷にKIFAあり。市民の皆さんのちょっとした力が加わると、もっと大

きなものになります。一緒に、育てていきませんか」と呼びかけられました。

続いて、来賓紹介、清水聖土市長の祝辞に続き、30周年記念事業として「永年会員に感謝状」の授与。「青年ワカタネ親善大使」の紹介が行われました（1, 6, 7面参照）。

パーティは万国旗の下、200人近い来場者で会場は華やかに彩られました。キッズ英語講師のアメリカ人、ハビー・ガルシアさんと市内在住のキッズ英語サポーター・ユウセイ君（県立高校生）による司会進行で、交流タイム、アトラクションに移りました。

設立 30 周年を祝う K I F A パーティ

★世界の家庭料理屋台

世界の国には風土に根ざした家庭料理があります。異文化を知るには「お国」のお料理を知ることが一番です。KIFAパーティの主要なテーマとして「世界の屋台」を開店して人気コーナーとなっています。

今年は中国、韓国、香港、ブラジル、インドの屋台が並び、楽しむ輪が広がっていました。



パーティの司会進行を務めたユウセイ君とハビーさん



屋台のブース



賑わう交流の輪が広がる会場(上) お目当ての屋台の前には長い列もできています(右)



★英語とクッキーゲームを楽しむ



キッズコーナーには、大勢の子どもたちが列を作り、英語ヒアリングゲームとクッキーのデコレーションを楽しみました。

ヒアリングゲームでは、耳を澄まし、単語を聞き取る表情は、真剣そのものです。ゲームをクリアした達成感と笑顔で賑わうコーナーとなっていました。



広報誌で見る 30年の軌跡

パーティ会場に創刊号から最新号までの広報誌の1面が掲示され、歴史の一端を知ることができました。



感謝状授与の永年会員、法人・団体会員のご紹介

【永年個人会員さま】（敬称略、順不同）

相原博子、有田容子、飯田文夫、石川優子、一色雅男、伊藤富美、植松アネッテ、小栗泰三、小田桐清志、勝又勝、熊谷綱二郎、小茂田茂、後藤田長生、斎藤和美、坂田佳枝、関キヨ、高瀬三男、瀧澤千晶、内藤莊三、内藤登代子、西川久雄、西田裕司、入戸野恵子、平田真裕美、藤井明恵、藤本克代、古井雅彦、星野幸也、堀田一博、真塩千昭、真塩温子、松崎洋三、松原みき子、宮崎京子、村田源吉、村松知、山賀正六、山田保、吉川秀子、若林淳子

【法人・団体会員さま】（順不同）

千葉県立鎌ケ谷高等学校、㈱岡田産業、鎌ケ谷市自治会連合協議会、鎌ケ谷市商工会、鎌ケ谷青年会議所、鎌ケ谷造園土木㈱、鎌ケ谷市小中学校長会、鎌ケ谷市庭園業組合、鎌ケ谷ライオンズクラブ、鎌ケ谷ロータリークラブ、茂野製麺㈱、新和設備㈱、㈱千葉銀行鎌ケ谷支店、千葉県立鎌ケ谷西高等学校、東葛食品㈱、那須設計工務㈱、私市醸造㈱、ニッポー㈱、セイバートレード㈱、爽歯会みちのべ歯科医院、㈱タニマ、プロス・プラザ㈱、鎌ケ谷総合病院、(有)後関量店

外国文化の紹介、外国人との交流の場



★異文化を知るハカ、テコンドー演武、マリネラダンス

アトラクションの舞台には半裸姿で顔、身体にmoko(部族を表す模様)を施したたくましい男性二人が登場しました。勇ましい声を上げながら、足を踏み鳴らし、体を叩いたり舌を出して踊ります（写真左）。

ワカタネ市との姉妹都市20周年を記念し、Mr. Luke Bradleyらによるマオリ族の神聖な民族舞踊・ハカダンスが披露されました。Hei ranga Heiroro（ウェルカムダンス）、Tika Tonu（戦いの舞踊）が踊られ、最後はオールブラックスで有名なKa mate（喜びと感謝の舞踊）を参加者

と一緒に踊りました。

続いてTKキングによる『テコンドーの演武』では「板割り」が披露されました。武の表現もまた民族固有のもので（同中）。

そしてダンス。華麗に魅惑的にスハラ ホセ・スハラ アナと子どもたちによるペルーダンス・マリネラが舞台を彩っていました（同右）。世界中どの国にも民族の固有のアイデンティティ、祭祀をつかさどる舞踊があります。異文化を象徴するものです。



★異文化理解には外国語習得、音楽は異文化の響き

外国の言語習得は異文化を知るツールです。KIFAでは10年前から、ネイティブ英語圏の先生によるスマイリーキッズ・子ども英語教室を開設し、多くの子どもたちが通っています。

その生徒たちによる英語の歌が披露されました。それぞれ自己紹介と好きなことを英語で表現し、お母さん、お

父さんたちをびっくりさせました。会場からも「ほ～っ」と歓声が上がりました（写真左）。

鎌ケ谷西高等学校の生徒らによる吹奏楽が始まりました（同中）。続いてTimさんとカンナさんによるサクソとピアノによる「A列車で行こう」などのジャズ演奏（同右）。音楽は異文化共通の響きです。



（お断り）
最新号90号までのうち、スペースの都合で省略されています。

姉妹都市ワカタネ市からのメッセージ

ワカタネ市長 Mr. Tony Bonne、ワカタネ市サポートアドバイザー Ms. Janie Storey から、KIFA30 周年のお祝いに以下のメッセージをいただきました。



Kamagaya International Friendship Association 30th Anniversary Message

Message from Tony Bonne - Mayor of Whakatane



My history with KIFA goes back to when Kamagaya were courting Whakatāne to establish a Sister Cities relationship and I was the Mayor. I also represented the Council as Mayor at the time of the signing the original agreement 20 years ago in Kamagaya. During that time and over the years I have had some wonderful experiences meeting with people from Kamagaya and the members of KIFA.

I remember the Japanese culture afternoon we had at the Whakatāne Hall when many of your group came and shared your culture with us – you had people teaching us calligraphy, ikebana, had a traditional tea ceremony and some students modelled Kimono. Many of our residents came along to participate and learn about the

Japanese Culture.

At other times when Whakatāne groups have visited Japan, Members of KIFA were always there to assist with the language and culture and to make sure the groups were well catered for. It is at times like this that you realise the true meaning of friendship and we thank you for your support in the past and in the future.

私の KIFA との関わりは、市長として鎌ヶ谷市から姉妹都市提携をしたいとの申し出があった時からです。ワカタネの市長、また市の代表として 20 年前に鎌ヶ谷市で調印を行いました。調印式に関わる間だけでなく、その後も鎌ヶ谷市や KIFA のメンバーにお目に掛り、素晴らしい経験を得る機会がありました。鎌ヶ谷の方や KIFA のメンバーがワカタネに来訪され、日本の文化などを披露してくれたこともありました。ワカタネのメンバーが日本を訪れる際、常に KIFA のメンバーは言葉や色々な体験の場でアシストし、もてなしてくれ、真のフレンドシップを実践してくれています。これまでの KIFA のサポートに感謝し、これからもよろしくお願いします。(要約)

Message from Janie Storey - Governance Support Advisor - Whakatāne District Council



Twenty years ago, I had the honor of taking over the Sister Cities role at the Council. This was when the signing ceremony with Kamagaya City Hall took place. Part of the role was to liaise with KIFA and help organise a variety of activities for members and students to see and do while in Whakatāne.

This part of my job is one of the most special and satisfying things to do. I have made many friends over the years and have visited Kamagaya 3 times. Sadly, some of those people are no longer there – but they are still held very fondly in my memory.

I look forward to continuing to work closely with KIFA and Kamagaya City Hall to ensure that the exchanges continue to be meaningful, are an opportunity to meet new people and experience new and exciting activities to do in our region.

Kind regards to you and all the best for the next 30 years.

私は 20 年前、光栄なことに姉妹都市提携の調印式を準備する役割を担っておりました。鎌ヶ谷市役所で行われる調印式のため、KIFA と一緒に様々な準備を進めました。私の仕事の中でも、もっとも特別で充足感を得られる仕事です。これまで 3 度鎌ヶ谷を訪れ、多くの友人を得ることもできました。今後も KIFA そして鎌ヶ谷市とともに、有意義な交流が一層確かなものになるよう、そして両市間で新たな人々の出会いや素晴らしい交流の機会のために活動できるのを楽しみにしています。感謝を込めて。これからもよろしくお願いします。(要約)

姉妹都市ワカタネ (NZ) との交流

ワカタネ (Whakatane)

ニュージーランドの北島、ベイ・オブ・プレンティ東部の中心地であるワカタネは、人口約 18,000 人、気候はとても穏やかで、すっきりと晴れた日が多いところです。

ワカタネはフィッシングの魚場としても知られており、その他、博物館、天文台、マオリの歴史的遺跡もあります。近くにはオホペという、とても美しいビーチもあります。

ワカタネには、姉妹都市提携を記念し造られた Japanese Garden があり、ワカタネ・鎌ヶ谷両市の友好のシンボルとなっています。現地の人々が結婚式を行ったり、イベントなども行われている場所になっています。園内には KIFA との友好を印した石板があり、Japanese Garden の寄贈に KIFA も協力したことが記されています。



ワカタネ川とワカタネ市街を望む



Japanese Garden



友好を印した石板

KIFAの人的交流

姉妹都市提携当時から KIFA は人的交流を進めてきました。

これまで成人派遣、青少年派遣を通じて多くの市民を派遣し、また交換留学として高校生を受け入れてきました。姉妹都市提携 10 周年の時には、市長、姉妹都市交流委員長、市議会議長、公式訪問団とともに、KIFA も市民を派遣し、ワカタネで行われた記念式典に参加しました。

KIFA 設立 30 周年記念 青年ワカタネ親善大使

今年度、設立 30 周年を記念して、KIFA ではワカタネに 2 名の青年親善大使を派遣します。現地でホームステイを体験し、KIFA にゆかりのある場所を訪問、現地の人達と友好を深めてくる予定です。

2017 年 9 月に行われた選考会で選出されたのは、歴史と地理の高校教諭田中遼平さんと、国際学を学ぶ大学 2 年生の和田夏音さんです。お二人の抱負を伺いました。

田中遼平さん

「来日したワカタネの生徒達と自校の生徒達が楽しそうに交流している姿を見て、自分自身が直接国際交流の素晴らしさを経験したいと思い応募しました。学校現場の見学や伝統文化について話し合ってきてみたいと思います」

和田夏音さん

「視野を広げて鎌ヶ谷市の活性化に役立ちたいと思い、自然が豊かでマオリ文化を大切にしているニュージーランドへ行き、観光や文化の調査をしたいと応募しました」



左 田中さん

右 和田さん

知った世界の文化、伝えた日本の文化

鎌ヶ谷市に住み、暮らしている外国人はこの10年で急速に増えています。

市民の皆さんが日常的にお付き合いする機会も増えています。

国際化する日常生活では異文化を知り、理解し合うことが求められます。

KIFAではこの10年、さまざまな企画イベントを通じて、外国文化を知り、

さらに日本文化を伝える異文化交流の機会を提供してきました。

世界からの空の玄関 NARITA・HANADA の中継都市 鎌ヶ谷市は、

異文化交流の育つ、在住外国人にも故郷に変わる街です。

「草の根」異文化交流の育つまち

設立 30 周年、KIFA—この 10 年の活動記録

【KIFAパーティ】 (年1回)

・在住外国人、市民らが会話を楽しみながら交流の促進を図る最大のイベント。毎回、市長、市議会議長らのご出席があります。

・「世界の屋台で国際交流」をテーマに、食を通じた国際理解と国際交流の推進。また、ゲームやアトラクションを通じて異文化に触れる機会を提供。新たな交流の場にもなっています。



2016. 11 KIFAパーティ

【世界を知る会】 (年1回)

・世界をよく知る講師や日本で活動する外国人アーティストを招き、国際的視野を広げる講演会、海外の文化に触れる音楽などを市民に提供しています。講師とテーマは以下の通り。

▼国際弁護士ヘンリー幸田氏「天才エジソンの母」▼小山内美江子氏「愛を育てる金八先生」▼前ニュージーランド大使高橋利弘氏「ニュージーランドをもっと知ろう」▼張勇氏、邵容氏「中国琵琶と二胡のコンサート」▼ハイチュウ氏「ベトナムの話と歌と音楽と」▼宮内誠司氏「南極—知られざる大自然」▼公演「華麗な京劇の世界への誘い」▼秋山秀一氏「とっておきのキプロスの魅力」



2016. 02 二胡と中国琵琶

【交流バスツアー】 (年1回)

・歴史の街や日本の自然・文化を訪ねて、参加外国人と市民の交流親善のツアーを実施しています。

▼富士山・河口湖▼城ヶ島・鎌倉▼初秋の箱根路、芦ノ湖▼国会議事堂など都内研修▼水戸偕楽園・鹿島神宮▼港ヨコハマ・三溪園▼房総めぐり・館山城、赤尻文化会館▼世界遺産の日光の寺社▼外国人に人気の明治神宮、浅草、両国・江戸東京博物館▼大宮・鉄道博物館と小江戸・川越散策



2017. 10 交流バスツアー

【交流カフェ】 (年1回)

・世界の国には「歴史・文化、風土」に根差した暮らしがあります。外国人講師らを招き、各国の理解を深め、異文化交流を促進します。

▼「千葉大学中国留学生の話を聞く会」(災害についての共通認識や対応確認…地域新聞から取材あり)▼中国残留孤児の話を聞く▼童謡を合唱して美しい日本語を覚えよう▼セルビア大使館「セルビアの文化と暮らし」▼「幸福の国ブータン」を知る▼2013 年度以降は、外国家庭料理講習会とのコラボでペルー、ベトナム、韓国、スリランカの文化を紹介▼鎌スタ☆ワールドフェスタ「ペルーダンスなどレセプション」。



2011. 10 セルビアの歴史と文化

【世界の家庭料理】（年1回）

・家庭料理の調理を通じて、異文化の理解を深めます。

▼セネガル・カナダ家庭料理▼手巻き寿司で結ぶ友情（外国人向け日本料理）▼ドイツ料理と中国料理▼スペイン料理▼ロシア料理「ボルシチの味」▼ペルー料理と「マリネラダンス」▼ベトナム料理とハイチュウさん（ベトナム人歌手）の歌▼韓国家庭料理チャブチェなど▼スリランカ料理とお国事情の紹介。

【外国文化に親しむサロン】（年1回）

・5カ国以上の外国人講師を招いて「外国文化事情」の違いを聞くサロンです。一つのテーマを日本語で話していただき、各国のお国事情を聞きながら楽しく交流します。

▼覚えて欲しい一言、知っておきたい文化の違い▼ここが変だよ日本人▼私のお国自慢▼日本の常識、世界の非常識▼世界のお祭り▼日本のおもてなし、世界のおもてなし▼私の国のスポーツ事情

・これまでの参加外国人——中国、韓国、ロシア、アメリカ、セルビア、スペイン、ペルー、コスタリカ、ミャンマーなど。

【英会話サロン】（年2～3回）

・「部屋へ一歩入ればそこは英語の世界」複数の外国人ゲストを招いて英語でディスカッション。英会話の腕試しやブラッシュアップの場にもなっています。不定期開催で年2～3回。

【外国語研修講座】（通年）

・英語、中国語、ハングルの3ヶ国語を中心に、ネイティブ講師による年30回の講座を行い、市民の語学力、異文化理解を高めることを目的にしています。過去10年の受講生は延べ700人以上。

【Progress English 講座】（通年）

・2016年～現在、通年20回。
・中級レベルの英会話講座。現役世代、学生にも参加しやすいようにと夜間に開講しています。

【スマイリーキッズ・子ども英会話講座】（通年）

・2003年～現在、通年30回

ネイティブ講師による小学生のための英会話講座。子どもたちが生きた英語と外国人とのコミュニケーションの大切さ、楽しさを学んでいます。2015年から年数回補講を行っています。

【多文化交流キッズ版】（年1回）

・多国籍親子交流会（2008年度）
・いろいろな国のことばを楽しもう（2010～11年度）
・英語学習のみでハロウィンを開催（2012～13年度）
・ふるさと推進協議会、若手アーティストの協力を得て、東武鎌ヶ谷駅前前でハロウィンイベントを開催。フェイスペイント、ジャックオーランタン作り、多言語ゲームなどを開催（2014～17年度）

【パパママサロン】（随時）

・多国籍親子（夫婦）へ生活に必要な情報を届ける事業。防災、医療関連、その他の情報を適宜お知らせします。多国籍親子の交流の場を設け、相互理解のきっかけ作りを目的としています。



2017. 02 スリランカ料理講習会



2011. 02 外国文化に親しむサロン



2015. 05 外国語講座開講式



2014. 12 スマイリーキッズクリスマス会



2014. 10 ハロウィン

【にほんご講座】

・日本で働いている外国人や日本に住む外国人の日本語学習をサポート。外国人が正しい日本語を習得し、日本語で思考し話せることを支援するためのにほんご講座です。充実した日本語講師・スタッフが受講生のレベル別に対応しています。日本語で学ぶ受講生の目的は「仕事に役立てたい」「自国で日本語を教えたい」「コミュニケーションが上手くいくように」など、それぞれです。

初心者の受け入れはもちろん、JLPT(日本語能力試験)受験のサポートもしています。

日本語学習のほか「日本文化体験」として、浴衣を着て太鼓体験や日本の遊びをする夏祭りや習字体験など学習しています。

【通訳事業】

- ・市の防災訓練に参加した外国人に災害時避難の通訳を実施。
 - ・他団体の要請による外国人通訳の派遣。
 - ・災害時持ち出し品リストの多言語版（英、中、ハングル）作成。
 - ・多文化共生社会におけるコミュニケーションのあり方。
- コミュニティ通訳講座（2016 年 12 月 4 日 市主催）企画立案。

【派遣事業】

- ・姉妹都市ワカタネとの人的交流
- ▼青少年ロングステイ、交換留学 計 4 名（4 週間）派遣、ワカタネからの交換留学生 2 名（3 か月）受け入れ（2008 年度）▼驚異的なインフルエンザの流行で派遣中止（2009 年度）▼青少年ロングステイ 6 名（4 週間）派遣（2010 年度）▼2 月にニュージーランド地震、3 月に東日本大震災に見舞われ派遣活動は中止（2011 年度）▼ワカタネ・トライデント高校生が来鎌し、鎌ヶ谷高校での交歓会に参加（2012 年度）▼派遣事業は行われず（2012 年度～2016 年度）▼設立 30 周年記念事業として「青年ワカタネ親善大使」を 2 名派遣（2017 年度）

【広報活動】

- ・広報誌「KifaPlaza」は KIFA 設立以来、会員、市民への活動報告とイベント開催の案内を掲載。年 3、4 回発行。（本号まで 91 号）
- ・KIFA 事業活動のほか、在住外国人の「マイ・ホームタウン」や国際交流活動の研修会、多文化共生研修会のような広報委員会独自の記事も掲載しています。

【ホームページ】

- ・2000 年開設。数回のリニューアルを経て、2017 年夏には「スマホ対応」に切り替えました。
- ・2014 年からはメール機能を活用、会員で希望者には E メールで種々のご案内を送れるようになりました。
- ・法人会員のバナー広告掲載
- ・これまでのテレビの取材、ニュース画像も収納されています。
- ・外国人に役立つ情報の提供や多数のリンク付けも行っています。
- ・「KIFA Plaza」の全号が PDF 化されてホームページに収納され、設立以来 30 年の KIFA のあゆみをごらんいただけます。



2015. 07 日本語教室夏まつり



2017. 09 防災訓練



2008. 10 交換留学生 工場見学



2010. 07 青少年ロングステイ



2016. 01 華麗な京劇の世界

多文化共生社会に向けて～地域社会と KIFA～

外国人の定住人口の増加にともない、多文化共生社会へ向けて全国の自治体では、学校・教育、福祉、災害時の対応など、外国人定住者に対する行政・地域の対応が必須となっています。KIFAにおいても、これまで交流・促進はもとより、新たな役割をいくつか果たしています。災害時には高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者だけでなく、日本語が母国語ではない外国人も要援護者となります。KIFAがこれまでに培ってきたノウハウを、これらの諸課題に生かしていくことが設立 30 年を経て、この先への KIFA の課題となっています。

災害時の外国人支援へ「やさしい日本語」

KIFA では、2011 年東日本大震災を機に、さまざまな取り組みをしています。鎌ヶ谷市においても在住外国人定住者の国、言語が多様化しているなか 2015 年、市総合防災訓練で外国人への通訳対応を皮切りに、地域の防災訓練への参加、避難所で役立つ挿絵、「やさしい日本語」や「多言語情報」の周知を広げるよう努力しています。

地震のない母国からきている外国人は、地震の避難行動について経験がない、知らない人が多く、また、災害時

には「避難勧告」や「安否確認」など、日常生活では使わない言葉がたくさん使用されています。災害時避難に際し、一人でも多くの外国人を支援するには、外国人に防災知識を得てもらうだけでなく、どうすれば彼らに必要な情報が、正しく伝えられるのかが課題となっています。

（多文化共生社会－「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」）



2014. 09 市総合防災訓練



2014. 11 鎌高防災訓練



2017. 03 中部小での防災訓練

市内事業所等との連携

この 10 年間では、市内の事業所でも外国人労働者が増えています。これら市内事業者から多言語対応に伴う問い合わせや、通訳依頼などが寄せられ、講師派遣やイベントへの協力などを行ってきました。

「きらりフェスタ」では、KIFA の協力で市内在住外国人が多い、中国、韓国などの多言語ゲームを行い、防災情報や多言語情報を紹介しています。また、事業所の企画イベントに協力し、外国人講師を派遣し、多文化交流・理解に努めています。

プロ野球・日本ハムファイターズのファーム球場で行

われた「鎌スタ☆ワールドフェスタ」への参加協力、青年会議所主催「なるほど the わ〜んど」への協力、講師派遣など、さまざまです。

K I F A と地域の多文化共生社会

鎌ヶ谷市に在住する外国人定住者がますます多国籍化し、異文化・多文化共生社会が市民の身近に拡散しています。市当局や市内各種事業所は今後、生活習慣の違い、コンプライアンス、労働者への対応、多様な言語にどのように対応していくか、大きな課題となっています。KIFA にとっても、これまで 30 年間の実績を活かしながら、新たな活動への対応が始まっています。



2017. 02 きらりフェスタ



2016. 04 鎌スタ☆ワールドフェスタ



2017. 04 なるほど the わ〜んど

KIFA ホームページ 外国人向け多言語情報



For Foreign Residents として、外国人に役立つ生活情報、
防災、医療、法律、その他の情報を掲載しています。



生活情報 Living Information
(せいかつじょうほう)



医療情報 Medical
(いりょうじょうほう)



防災 Emergencies/Disasters
(ぼうさい)



法律相談 Legal Consultation
(ほうりつそうだん)

医療情報では、多言語問診票 (Multilingual Medical Questionnaire)、
救急時情報収集シートのダウンロードができます。

2018 年度 予定されている語学講座

詳細は 4 月に広報かまがや、KIFA HP などでお知らせします

*スマイリーキッズ小学生の英会話

土曜日 9:30~12:30 の中 50 分 全 30 回

*Progress English 講座 (中級英会話)

働きながら学ぶ人や学生対象

月 2 回 火曜日 9:15~20:45 全 20 回

*外国語講座

英語講座・ハングル講座・中国語講座

各講座とも年間 30 回

*外国人のためのにほんご講座 (随時受付)

水曜日 (WED) 19:20~20:00

さくら鎌ヶ谷市民会館 3 階

KIFA 会員募集中!

年会費 個人会員 : 2,000 円
家族会員 : 5,000 円
生徒会員 : 1,000 円
法人・団体会員 : 10,000 円

2018 年度年次総会のお知らせ

鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)の2018年度年次総会
を 5 月 20 日 (日) 市総合福祉保健センター 6 階で
開催します。会員各位のご出席をお願いします。
(詳細は別途お知らせいたします。)

★ 30 周年記念号の編集を終えて——

設立から 20 年(1988~2007)頃までの国際交流環境と、現在の国際交流の地域事情は、この 10 年で大きく様変わりしています。

平成 18 (2006) 年、経済財政諮問会議「経済財政運営と構造改革に関する基本方針」に多文化共生社会の推進が明記され、鎌ヶ谷市では平成 21 (2009) 年に「鎌ヶ谷市多文化推進計画」を策定。平成 27 (2015) 年、第 2 次推進計画が策定されています。

国際交流の活性化を図るとともに、生活者としての外国人住民の方が暮らしやすい環境づくりを整備していくとしています。行政サービスの充実、情報の提供・収集が盛り込まれています。KIFA への通訳の依頼言語は、タイ語、ベトナム語、ヒンドゥー語、

ミャンマー語など、ここ数年多様化しています。

30 周年記念式典で、清水聖士市長からは「40 年、50 年も頑張って、さらに国際交流を活発にしてください」と、敬意・感謝と共に激励をいただきました。永年、運営に関わってきたボランティア会員には嬉しい励ましでした。

昨今、海外旅行など直接、海外・異文化を知る機会が増え「国際化」を体験することは身近になっています。そうしたなかで、KIFA 活動の柱である異文化啓蒙・交流促進を通じて、鎌ヶ谷市の多文化共生を模索しながら、この 10 年の活動でした——30 周年記念パーティ、記念号の編集に携わって、その感を深くしました。(M・H)